Carmate

No.92706265A

E-FREE 02

取扱説明書



⚠ ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んでください。

E-FREE 02



●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません

株式会社カーメイト
〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11
お問い合わせ ▶ カーメイトWebサイト【お客様サポート】

ENGINEERED BY CAR MATE, JAPAN　MADE IN CHINA

目　次

目次 …… 1
はじめに …… 2
特定小型原動機付自転車e-FREE について …… 3
ユーザー登録のお願い …… 7
保証規定 …… 8
組立完成状態 …… 9
付属品一覧 …… 11
組み立て方法 …… 12
主電源スイッチ ON / OFF方法 …… 15
LEDメーターについて …… 16
ウィンカースイッチ操作方法 …… 18
フレーム / ハンドルポストの折りたたみ方法 …… 19
バッテリー取り外し / 取り付け方法 …… 20
バッテリーの充電方法 …… 21
専用バッテリーについて …… 22
走行前点検 …… 23
乗車方法 …… 24
安全に走行いただくために …… 28
保管とメンテナンス …… 29
トラブルシューティング …… 31
車両情報 …… 32
パーツリスト …… 33

はじめに

この度は、e-FREE 02をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
e-FREE 02 を正しく、安全にご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解されたうえで使用してください。当車両は、特定小型原動機付自転車（特例対応／歩道走行モード付）です。

■ 運転する際は

●16歳未満の方の運転は法律により禁止されています。
バランス感覚の低下、反射神経や筋力の衰えを感じられた場合は運転をお控えください。

●標識（ナンバープレート）を取得し、見やすい場所に取り付ける必要があります。

●自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）へ加入が必要です。

●ヘルメットの着用は努力義務です。適切なヘルメットの着用を推奨いたします。

●法律を厳守し、交通マナーを守り走行してください。

通行場所

●MODE1（歩道通行モード）
歩道、路側帯（歩行者用路側帯を除く）

●MODE2（車道通行モード）
車道、普通自転車専用通行帯、自転車道

特定小型原動機付自転車 e-FREEについて

■車両区分

e-FREE は「特定小型原動機付自転車(特定小型原付)に区分されます。

	道路交通法の車両区分	法定速度(最高速度)	免許	年齢	ヘルメット	ナンバープレート	自賠責保険
原付バイク	一般原付	30km/h	原付免許	16歳以上	必須	必須	必須
ペダル付き電動バイク（モペットなど）	一般原付	30km/h	原付免許	16歳以上	必須	必須	必須
e-FREE	特定小型原付	20km/h	不要	16歳以上	努力義務	必須	必須
	特例特定小型原付	6km/h ※1					
電動アシスト自転車	軽車両	なし ※2	不要	不問	努力義務	不要	不要
普通自転車（シティサイクル）	軽車両	なし ※3	不要	不問	努力義務	不要	不要
シニアカー（ハンドル型電動車椅子）	歩行者	6km/h	不要	不問	不要	不要	不要
歩行者	歩行者	なし	ー	ー	ー	ー	ー

※1：歩道通行時は、6km/h以下(歩道通行モード)で走行する必要があります。
※2：24km/h未満の場合にアシスト機能が働き、それ以上の速度ではアシスト機能が停止し、人力による走行となります。
※3：道路標識で指定されている場合は、その速度を超えてはいけません。

●特定小型原動機付自転車とは

特定小型原動機付自転車とは、次の基準を全て満たすものをいいます。

〈 車体の大きさ 〉 長さ：190cm以下　幅：60cm以下

〈 車体の構造 〉
- 20km/hを超えて加速することができない構造であること。
- 走行中に最高速度の設定を変更することができないこと。
- オートマチック・トランスミッション(AT)であること。
- 最高速度表示灯(灯火が緑色で、点灯するもの)が備えられていること。等



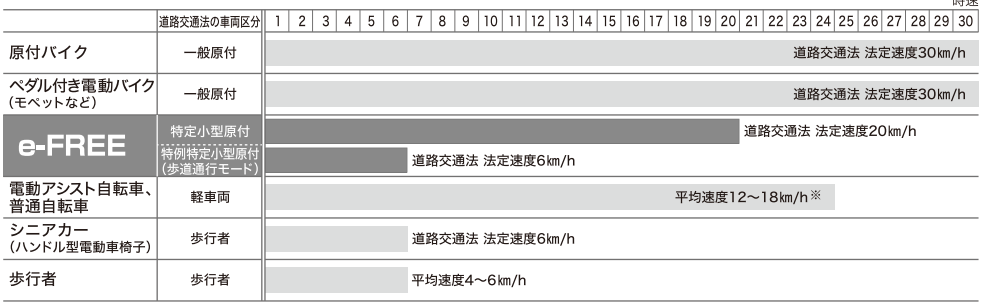
●特例特定小型原動機付自転車とは

特定小型原動機付自転車のうち、次の要件を満たす車両を「特例特定小型原動機付自転車」といいます。

- 歩道を走行する間、緑色の最高速度表示灯を点滅させていること。
- 最高速度表示灯を点滅させている間は、6km/hを超える速度を出すことができない構造であること。

e-FREEを「歩道通行モード」で走行する場合は、特例特定小型原動機付自転車(特例特定小型原付)として「普通自転車等及び歩行者等専用」の標識がある歩道を走行することが可能です。

●法定速度 / 平均速度の目安



※電動アシスト自転車は24km/h未満の場合にアシスト機能が働き、それ以上の速度ではアシスト機能が停止し、人力による走行となります。

■保安基準への適合

e-FREEは、道路運送車両の保安基準に適合しています。保安基準に適合している車両には、「性能等確認済シール」が貼ってあります。



国土交通省 性能等確認制度適合品

e-FREEの駐輪場

e-FREEは、原動機付自転車の一種なので、原則としてバイク用の駐輪場や駐車場を利用してください。ただし、施設により対応が異なる場合があるので、その際は施設管理者の指示に従ってください。



ナンバープレートの取得と自賠責保険への加入

e-FREEを公道で走行するには、ナンバープレートの取得と自賠責保険の加入が必要です。ナンバープレートを取得するには、お住まいの市区町村の役所に必要書類を提出し、ナンバープレートの交付申請をします。

申請時に必要なもの…軽自動車税(種別割)申告(報告)書兼標識交付申請書、販売証明書、身分証明書
また、4月2日時点で車両を所有している場合、軽自動車税(年額2,000円)が発生します。

自賠責保険に加入するには、保険会社、保険代理店、コンビニエンスストア、郵便局、インターネットなどで手続きができます。

申請時に必要なもの…標識交付証明書(ナンバーの交付時に取得できます)
保険料は複数年分(最長5年)を一括払いすることも可能です。

＜自賠責保険の保険料＞ 2026年11月現在

保険期間	1年	2年	3年	4年	5年
保険料	7,430円	9,040円	10,610円	12,130円	13,620円

※沖縄県、本土離島を除く

ナンバープレート例



動画

ナンバー＆自賠責保険の取得方法について

標識交付証明書の携行について

ナンバープレートを取得した際に発行される書類で、車両と所有者の情報が記載されています。携行の義務はありません。名義変更する場合や廃車にする場合に必要となるため、大切に保管してください。

自賠責保険証(自動車損害賠償責任保険証明書)の携行について

自賠責保険に加入した際に発行される書類で、携行することが義務付けられています。ただし、e-FREEのように「210mm×148mm以上の密閉できる保管場所」がない場合に限り、画像データをスマートフォンなどに保存して携帯することで、備付義務と提示義務を果たすものとして認められるようになりました。

主な交通ルール

e-FREEも交通反則通告制度や放置違反金制度の対象です。違反すると罰則や反則金が科せられます。

●16歳未満の者の運転の禁止

16歳未満の者が特定小型原動機付自転車を運転することは禁止されています。



●乗車用ヘルメットの着用

e-FREEの運転者には、乗車用ヘルメットの着用の努力義務があります。交通事故の被害を軽減するために頭部を守ることがとても重要です。自分の命を守るため、乗車用ヘルメットを着用しましょう。

●二人乗りの禁止

e-FREEは、二人乗りをしてはいけません。



●飲酒運転の禁止

お酒を飲んだときは絶対に運転してはいけません。



●信号機の信号に従う義務

原則として、車両用の信号に従わなければなりません。歩行者用信号機に「歩行者・自転車用」の表示がある場合は、歩行者用の信号に従わなければなりません。
歩道走行モード(MODE1)で歩道走行中、横断歩道を進行して道路を横断する場合は、歩行者用の信号に従わなければなりません。

●歩行者の優先

歩行者が横断しているときや横断しようとしているときは、**横断歩道の手前(停止線があるときは、停止線の手前)で一時停止**をして歩行者に道を譲らなければなりません。
歩道を走行するときも歩行者優先です。歩行者の通行を妨げてはいけません。

●その他守らなければならないこと

スマートフォン等を通話のために使用したり、その画面に表示された画像を注視したりしながら運転してはいけません。



■信号機・標識に従う義務

車両用の信号機・道路標識に従わなければなりません。

○主な道路標識

道路標識等により通行を禁止されている場合は、通行してはいけません。



「通行止め」


「車両通行止め」


「車両進入禁止」


「特定小型原動機付自転車・自転車通行止め」


「指定方向外進行禁止」


「一方通行」


「特定小型原動機付自転車・自転車一方通行」

道路標識等により一時停止すべきとされている場合は、停止線の直前で一時停止しなければなりません。





○補助標識の「車両の種類」について

e-FREEの「車両の種類」は、普通自転車と同じです。ただし、特に区別する必要がある場合に限り、別に示されます。

〈 e-FREEも対象となる補助標識の例 〉





例えば、本規制が実施された道路は、普通自転車と同様に、e-FREEも進入することができます。

■e-FREEが通行できる道路

e-FREEには「歩道通行モード」と「車道通行モード」があり、それぞれ通行できる道路に制限があります。サイクリングロードは、道路交通法では「車道と歩道の区別がない道路」もしくは「管理道路(施設)」であり、自転車専用とは限りません。e-FREE(特定小型原動機付自転車)でサイクリングロードを通行する際は、道路の管理者にお問い合わせください。いずれの道路を通行する場合でも歩行者が最優先です。

走行モード	最高速度	通行できる道路	
歩道通行モード	6km/h	歩道※1、歩道の普通自転車通行指定部分	車道寄りの部分を通行しなければなりません。
車道通行モード	20km/h	車道、自転車道、普通自転車専用通行帯※2	左側端に寄って通行しなければならず、右側を通行してはいけません。

※1「普通自転車等及び歩行者等専用」の標識がある歩道



※2「自転車道」「普通自転車専用通行帯」の標識がある道路



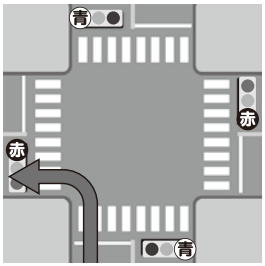






○左折の方法

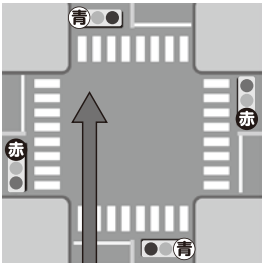
ウィンカーで左折の合図を行い、道路の左端に沿って曲がる。その際、横断中の歩行者の通行を妨げてはいけません。



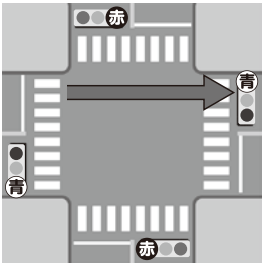
○右折の方法

全ての交差点において「二段階右折」をしなければなりません。

信号のある交差点の場合

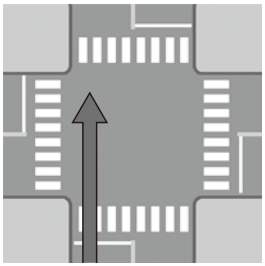


①青信号で交差点の向こう側まで直進して停止し、向きを変える

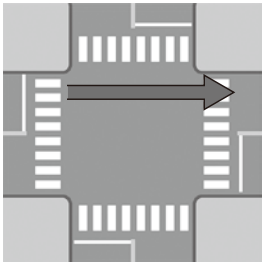


②前方の信号が青になってから進む

信号のない交差点の場合



①ウインカーで右折の合図を行い道路の左側に寄って交差点の向こう側まで直進して停止し、向きを変える



②車、歩行者に注意して進む

■その他

○安全利用のために

交通事故の被害を軽減するために、頭部を守るヘルメットを着用しましょう。
ヘルメットはカーメイト公式オンラインショップでも販売しています。

本　店　　楽天店　　Yahoo!店　　Be.BIKE 楽天店　　Be.BIKE Yahoo!店

○交通事故の場合の措置

交通事故が起きたときは、負傷者の救護や警察官への報告が必要です。これらの措置を講じなければ、いわゆる「ひき逃げ」になります。交通事故が起きたときは、次のような措置を講じなければなりません。

（1）事故の続発を防ぐため、他の交通の妨げにならないような安全な場所（路肩、空地など）に車両を止め、電源を切る。

（2）負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急救護処置を行う。この場合、むやみに負傷者を動かさない（特に頭部を負傷しているときは動かさない）ようにする。ただし、後続車による事故のおそれがある場合は、速やかに負傷者を救出して安全な場所に移動させる。

（3）事故の内容（発生場所、負傷者の有無や負傷の程度、車両や物の損壊状況など）を警察官に報告し、指示を受ける。

「特定小型原動機付自転車e-FREE について」の内容は、
警察庁が公開している資料をもとに株式会社カーメイトが作成しました。

ユーザー登録のお願い

重要

登録可能期限：ご購入日から1ヵ月以内

※保証を受けるためには車両使用前に登録が必要です。

製品は万全な品質管理体制のもとに製造しておりますが、正常な使用状態で故障した場合、保証規定に基づき修理、または交換をいたします。

【正常なご使用状態で故障した場合】

修理・交換費用無料 ※保証規定に基づく

1 市区町村役場で標識(ナンバープレート)の交付を受けてください。
2 自賠責保険に加入してください。
3 下記の二次元コードまたはURLからユーザー登録してください。

パソコン/スマートフォンから



https://lps.carmate.co.jp/lp/e-free/support-before/

登録無料! 登録は3分程度で完了します!

- ●お客様情報
- ●車体番号
- ●標識 (ナンバープレート) 番号
- ●ご購入証明書（レシート・領収書など）の写真や画像データ

※購入店名・購入日・購入製品名が判別できるもの

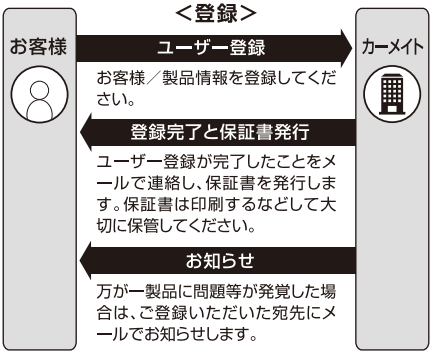
- ●自賠責保険証の写真や画像データ

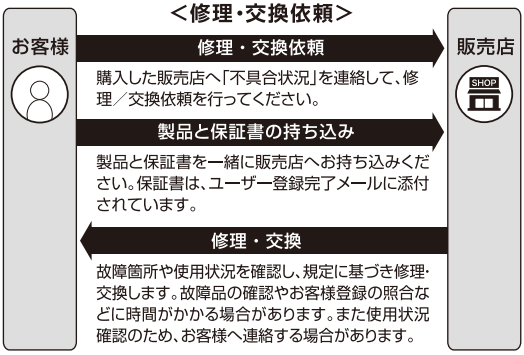
右のシール最下段にある 11 桁の英数字が車体番号です。

※車体番号は、車両フレームにも刻印されています。
刻印の場所は10ページでご確認ください

（車体番号シール貼付位置）

保証サービスの流れ





保証規定

1，e-FREE 02 を取扱説明書に従って通常に使用された状態で、保証期間内に保証対象部品に不具合が発生した場合、無償の修理（保証修理）をお約束いたします。保証修理は部品の交換または補修によって行います。

保証期間	保証対象部品	不具合症状
購入日から6ヵ月	【走行装置】 フレーム／ハンドル／ハンドルポスト／ハンドルバックル／ハンドルポストバックル／シート／シートポスト／シートポストバックル／ホイール／ステップバー／サスペンション／センタースタンド／グリップ／バックル 【動力発生装置】 モーター／アクセルグリップ／コントローラー／LEDメーター 【保安部品】 フロントランプ／テールランプ／ブレーキランプ／ウィンカー／ウィンカースイッチ／最高速度表示灯／ブレーキレバー／ベル／ナンバープレートステー 【その他】 キーシリンダー／フロントバスケット／リアキャリア／マッドガード	保証対象部品の不具合により、本来の機能が損なわれている場合。
	【電源装置】 バッテリー	満充電時に平地を車道通行モード（MODE2）で走行したときの距離が20km以下になった場合。（積載量70kg）

2，次のような場合は、保証期間内でも無償の修理（保証修理）の対象とはなりません。

(イ)ユーザー登録が行われていない場合
(ロ)保証書の提示がない場合
(ハ)使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷
(ニ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
(ホ)火災、地震、水害、落雷、公害、その他天災、地変などによる故障および損傷
(ヘ)保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
(ト)お買い上げ日、販売店名の証明ができない場合
(チ)外観部分の損傷

3，製品、部品、付属品を紛失された場合は保証対象外です。

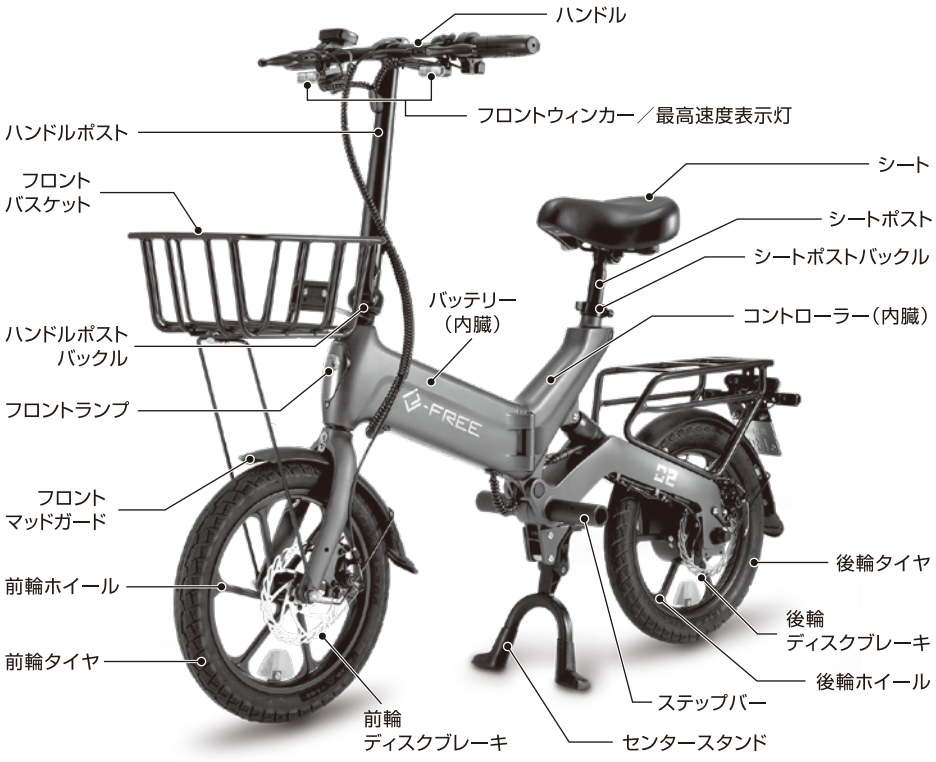
4，他の人から譲り受けたもの、また再販品に関しては保証対象外です。

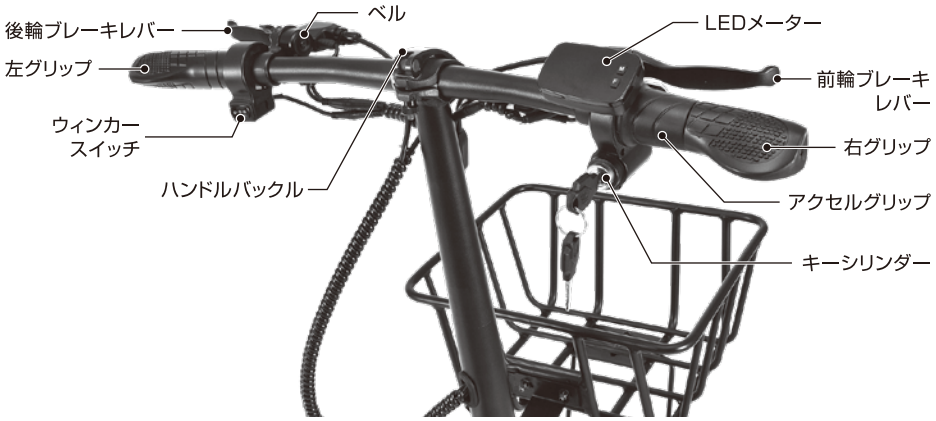
5，修理・交換は、必ず保証書をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

6，保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7，保証書は日本国内においてのみ有効です。

組立完成状態

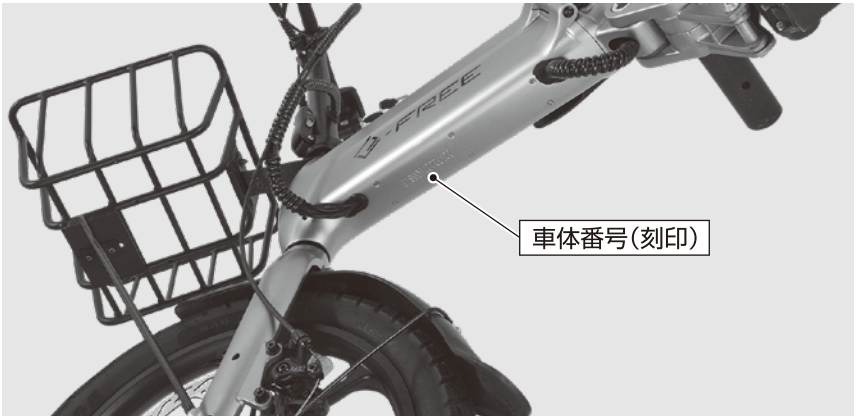

ハンドル
フロントウィンカー／最高速度表示灯
ハンドルポスト
フロント
バスケット
シート
シートポスト
シートポストバックル
バッテリー
（内臓）
コントローラー（内臓）
ハンドルポスト
バックル
フロントランプ
フロント
マッドガード
後輪タイヤ
前輪ホイール
後輪
ディスクブレーキ
前輪タイヤ
後輪ホイール
ステップバー
前輪
ディスクブレーキ
センタースタンド


ベル
後輪ブレーキレバー
LEDメーター
左グリップ
前輪ブレーキ
レバー
ウィンカー
スイッチ
右グリップ
ハンドルバックル
アクセルグリップ
キーシリンダー



車体番号（刻印）

フレームの底面に刻印されています。アルファベットと数字の11桁になります。



付属品 一覧

取扱説明書



フロントバスケット



シート



専用充電器



メインキー（2個）



バッテリーキー（2個）



プレートA



プレートB



ボルト（4本）



ナット（2個）



ワッシャー（6個）



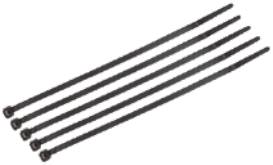
六角レンチ



スパナ



結束バンド（5本）予備3本含む

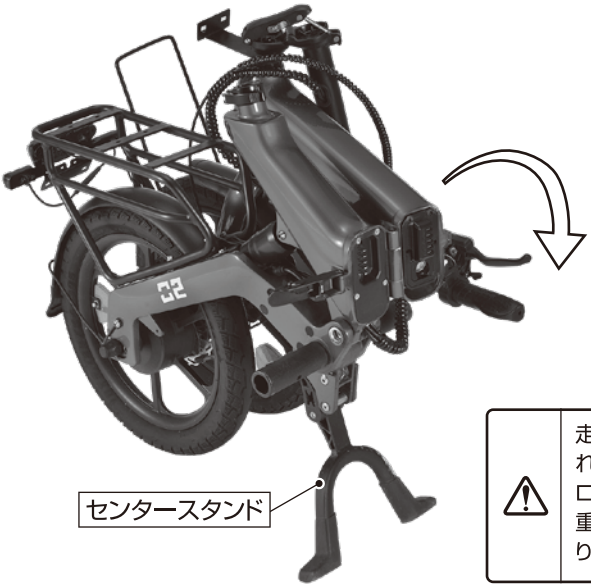


使用前に必ず内容物を確認してください。
内容に問題、不備がありましたら販売店までご連絡ください。

組み立て方法

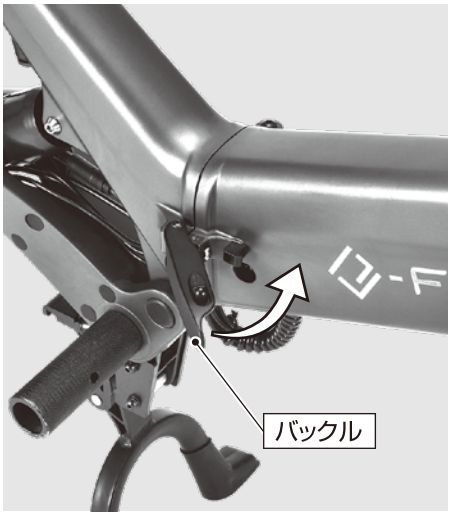
1 フレームとシート

①水平な場所でセンタースタンドを立てて車両を自立させて、フレームを前後に開きます。



⚠ 走行前にバックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックが不完全なまま走行すると、重大な事故を引き起こす危険があります。

②バックルを閉じてロックします。「カチッ」と音を立ててロックされたことを確認してください。



③シートフレームにシートポストを差し込み、シートポストバックルを閉じて固定します。



2 ハンドル

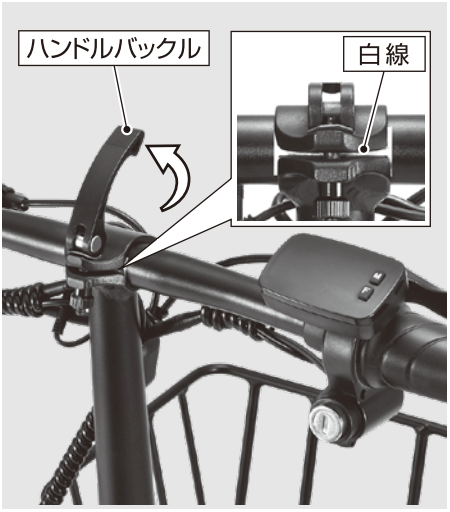
①ハンドルポストを持ち上げ、ハンドルポストバックルを閉じてロックします。「カチッ」と音を立ててロックされたことを確認してください。





> ⚠ 走行前にハンドルポストが確実にロックされていることを確認してください。
> ロックが不完全なまま走行すると、重大な事故を引き起こす危険があります。

②ハンドルバックルを上げ、ハンドルの白線が隙間から見える位置に調整します。



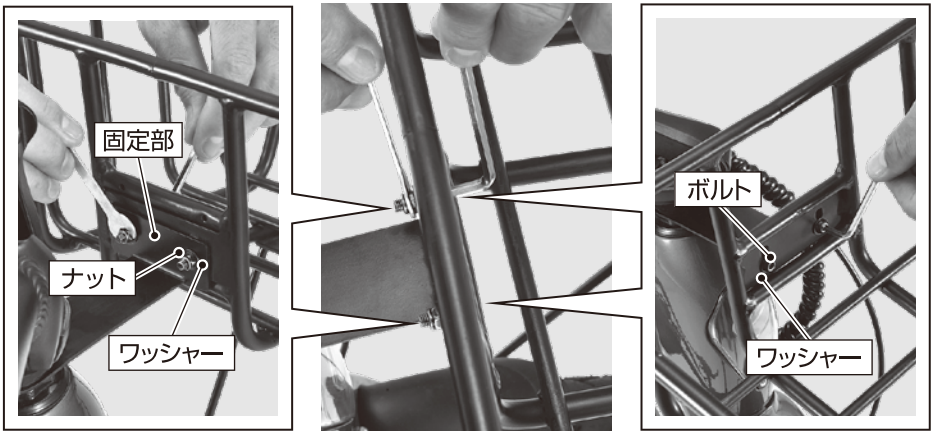
③ハンドルバックルを下げてハンドルを固定します。バックルがゆるい（きつい）場合は、ハンドルバックルねじで調節します。



3 フロントバスケット

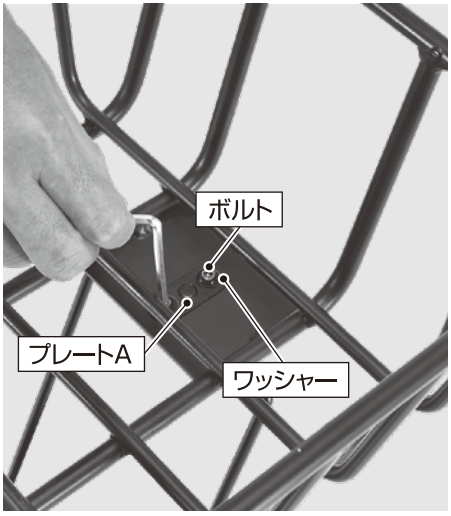
使用する部品	プレートA ／ プレートB ／ ボルト(4本) ナット(2個) ／ ワッシャー(6個)
必要工具	六角レンチ ／ スパナ

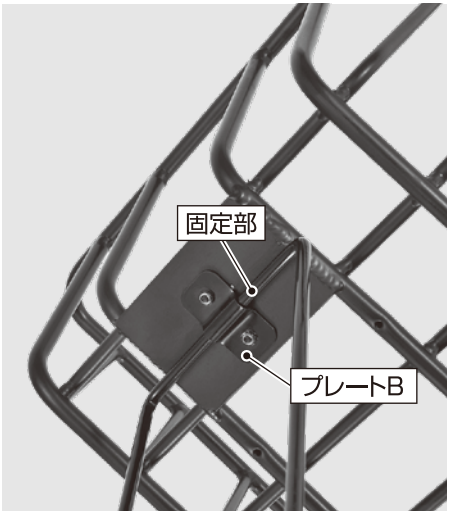
①ボルト（2本）、ナット（2個）、ワッシャー（4個）でフロントバスケットの側面を固定部に仮止めします。



②プレートA、プレートBとボルト（2本）、ワッシャー（2個）でフロントバスケットの底面を固定部に仮止めします。

③フロントバスケットの位置や角度を調整し、各部をしっかり本締めして固定します。

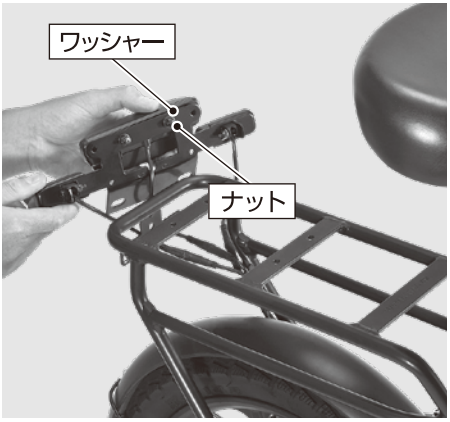




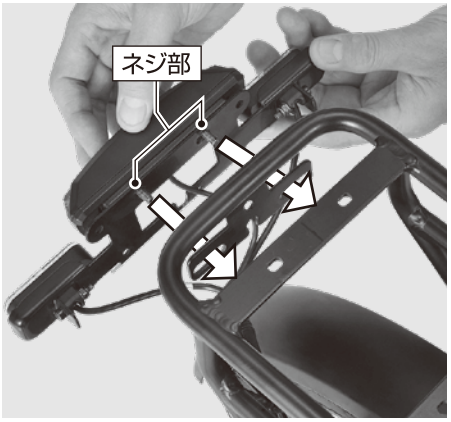
4 リアランプユニット

使用する部品　結束バンド(2本)　　必要工具　スパナ

①リアランプユニットに仮止めされている
ナットとワッシャーを取り外します。



②車両後部の取付部に、リアランプユニットの
ネジ部を差し込みます。



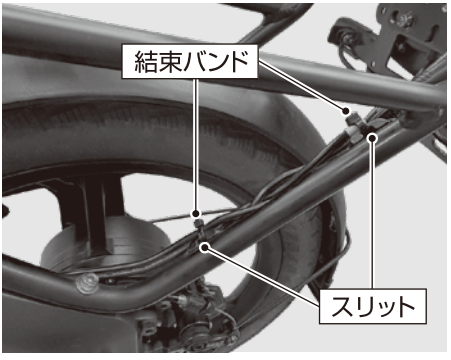
③取り外したナットとワッシャーでリアランプ
ユニットを固定します。



④リアランプユニットがガタつかないことを確
認します。

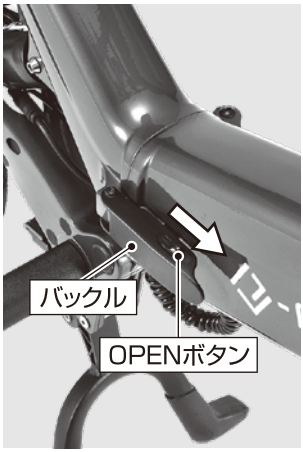


⑤リアキャリアのスリット（2か所）に結束バ
ンドを通し、ケーブルをリアキャリアに固定
します。

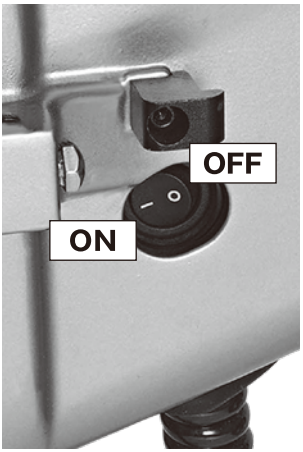


主電源スイッチ ON/OFF方法

●車両の主電源スイッチは、バッテリーに搭載されています。
①バックルの OPEN ボタンをスライドさせて、バックルを開きます。
②主電源スイッチに通じる穴からON/OFFを操作します。
●車両を30日以上使用しない場合は、主電源を OFF にしてください。

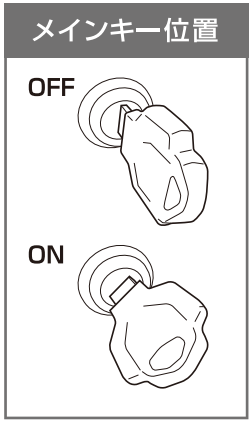


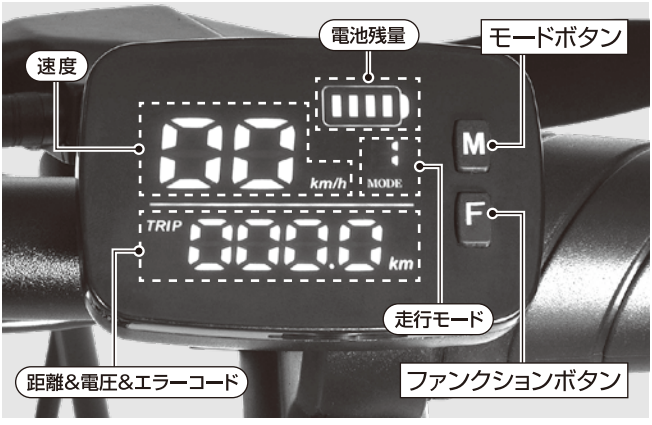




LEDメーターについて

主電源がONの状態でメインキーをキーシリンダーに差し込み、右に回すと電源がONになり、LED メーターが表示されます。ファンクションボタン、およびモードボタンを押すと表示内容や走行モードを変更することができます。



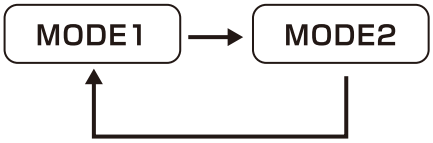


■走行モード

切替方法 モードボタンを押す

●電源をONにした時は、常に「MODE1」に設定されます。

●モードボタンを押すと走行モードが以下の通りに切り替わります。





●走行モードは停車時のみに変更が可能です。走行中の切り替えはできません。

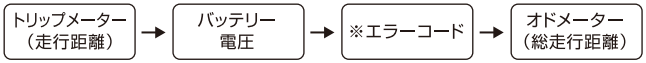
表示	モード	最高速度	最高速度表示灯	通行場所
MODE1	歩道通行モード	6km/h	点滅	歩道、路側帯（歩行者用路側帯を除く）
MODE2	車道通行モード	20km/h	点灯	車道、普通自転車専用通行帯、自転車道

■距離＆電圧＆エラーコード

切替方法 ファンクションボタンを押す

●電源ONにした時は、常に「トリップメーター」が表示されます。

●ファンクションボタンを押すと表示が以下の通り切り替わります。



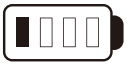
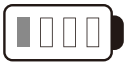
※エラーコード：車体のエラーが検出されると【ERR】アイコンとエラーコードが表示されます。検出されない場合はコードは表示されずスキップします。エラーコードの詳細は「トラブルシューティング（31ページ）」をご参照ください。

内容	単位
トリップメーター（TRIP）	km
バッテリー電圧（VOL）	V
オドメーター（ODO）	km

●電源がOFFになると、「トリップメーター（走行距離）」はリセットされます。

■バッテリー残量、エンプティマーク

●バッテリー残量が4段階で表示されます。表示がレベル2以下になった場合は、速やかに充電を行ってください。

レベル	4	3	2	1	点滅
表示					
バッテリー残量	約100%～40%		約40%～5%		約5%～0%

ウィンカースイッチ操作方法

ウィンカーとは、自分の進行方向を周囲に知らせるための合図です。車道走行時に左折または右折、車線を変更する場合は、ウィンカーで合図する必要があります。

■使用方法

直進時（ウィンカー消灯時）

●ウインカースイッチを左右どちらにも傾いていない状態（中立状態）にしてください。

左折時

●ウィンカースイッチの左側を押すと左ウィンカーが点滅します。

右折時

●ウィンカースイッチの右側を押すと右ウィンカーが点滅します。

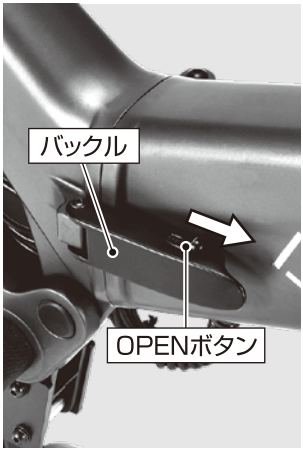


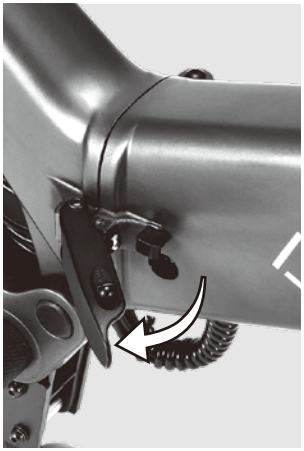
⚠ 使用後、ウィンカースイッチの戻し忘れにご注意ください。
ウィンカー点滅中も、ウィンカーは「カチカチ」といった作動音は鳴りません。

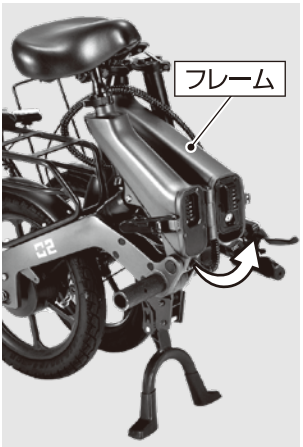
フレーム/ハンドルポストの折りたたみ方法

フレームの折りたたみ方法

①車両を平らな場所に置き、センタースタンドを立てて自立させます。
②バックルのOPENボタンをスライドさせて、バックルを開きます。
③フレームを前後に折りたたみます。

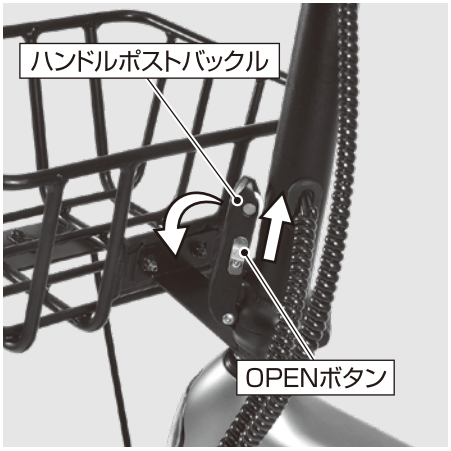






ハンドルポストの折りたたみ方法

①車体を平らな場所に置き、センタースタンドを立てて自立させます。
②ハンドルポストバックルのOPENボタンを上にスライドさせて、ハンドルポストバックルを開きます。
③ハンドルポストを折りたたみます。

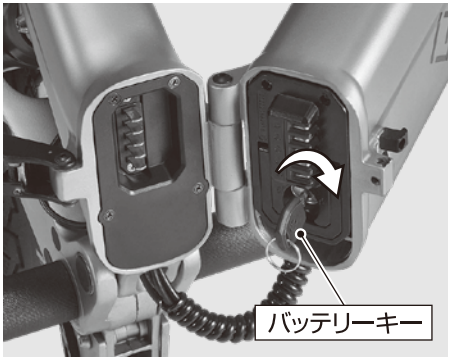


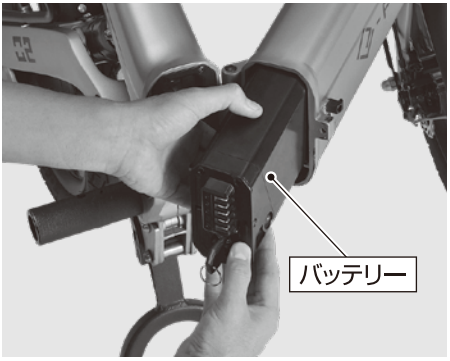


バッテリー取り外し/取り付け方法

■取り外し方法

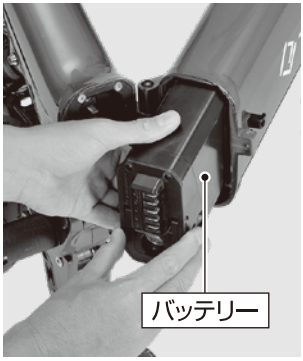
①フレームを折りたたみ、バッテリーキーでロックを解除します。
②フレームからバッテリーを取り出します。

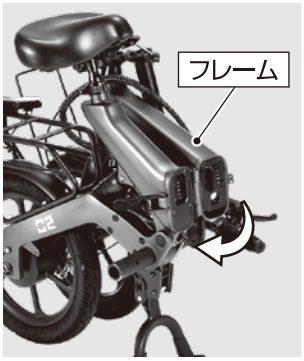


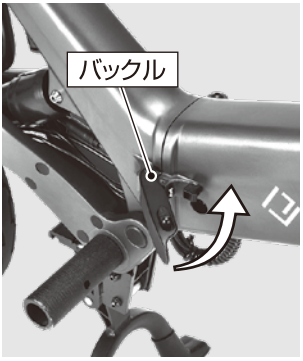


■取り付け方法

①フレームを折りたたみます。
②バッテリーを両手でしっかり持ち、向きを確認してから、フレームにまっすぐ差し込みます。バッテリーが正しく装着されると「カチッ」と音がします。音がしない場合は、奥までしっかり差し込まれていない可能性があります。
③フレームを前後に開いて、バックルを閉じてロックします。「カチッ」と音を立ててロックされたことを確認してください。







⚠ バッテリーは重いので、落としたり破損したりしないよう取り扱いには充分ご注意ください。破損により火災のおそれがあります。

⚠ 充電ポートのゴムキャップがしっかりはまっていることを確認してから、車両へ取り付けてください。



バッテリーの充電方法

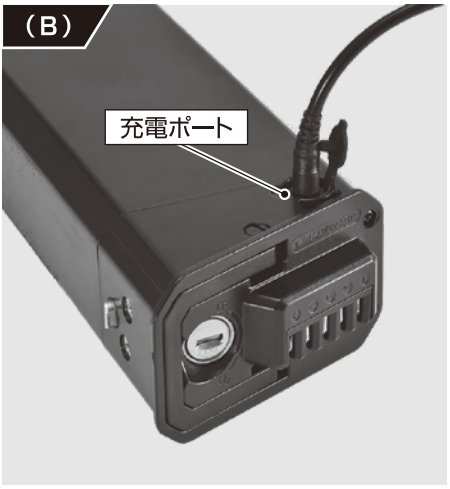
●バッテリーを充電する際は、必ず付属の専用充電器を使用してください。
●バッテリーは、(A)車両に装着された状態でも、(B)車両から外した状態でも充電できます。

①専用充電器をACコンセント(100-200V)に接続します。
②充電ポートのゴムキャップを開けて、専用充電器のプラグを接続すると充電を開始します。
③充電が完了したら、専用充電器のプラグを取り外し、充電ポートのゴムキャップを閉めてください。

●充電状況は専用充電器のインジケーターの色で確認できます。満充電までの充電時間は4−5時間です。

インジケーター	充電状況
赤	充電中
緑	充電完了





専用バッテリーについて

⚠ 使用上のご注意

●バッテリーはe-FREE 02 専用です。それ以外の用途で使用しないでください。
●充電には、必ず付属の専用充電器を使用してください。
●充電中は、充電器本体が高温になりますので注意してください。
●燃えやすいものや熱で変色・変形するものの近くで充電をしないでください。
●分解・加工・改造をしないでください。火災および感電の危険があります。
●火気に近づけたり、濡らしたりしないでください。
●落としたり破損したりしないように取り扱いには充分ご注意ください。
●バッテリーの破損・異臭・発煙が発生した場合は、すぐに使用をやめてお買い上げの販売店へご連絡ください。
●高温（50℃以上）、低温（−20℃以下）の場所に保管しないでください。

⚠ バッテリー寿命について

●e-FREE 02 バッテリーはリチウムイオンバッテリーです。
リチウムイオン電池は、他の電池と比べ耐久性がありエネルギー密度が高く、繰り返しの充電、放電に強い電池です。ただし、使用していくうちに劣化するため、寿命があります。
●サイクル回数（充電と放電の1セットを1サイクルとする回数）の目安は300回です。300回を超えると蓄電容量が80%程度まで低下します。また低温環境（−10℃以下）で使用する場合はバッテリー性能は大きく低下し、走行可能距離は通常の半分程度になります。
これらは、あくまでも目安であり、使用状況、環境によって大きく変化します。
●充電サイクル回数（300回）を目安に充電時間が極端に長くなった、走行距離が極端に短くなった場合は、新品のバッテリーにお取り替えください。

⚠ バッテリー廃棄について

●e-FREE 02 専用バッテリーを廃棄する際は、地域の規則に従って適切に廃棄処理を行ってください。また、当社ではバッテリーの無償回収（送料はお客様負担）も行っております。

⚠ 長期間使用しない場合

●車両を30日以上使用しない場合は、主電源スイッチをOFFにするか、車両からバッテリーを取り外してください。
●長期間使用しない場合でも定期的（3ヵ月に1回）に充電を行ってください。完全放電すると電池の寿命が短くなります。
●完全放電の状態で長期間放置すると、バッテリーは使用できなくなりますのでご注意ください。

走行前点検

走行前に必ずご確認ください。異常や不具合が見つかった場合は、販売店へご相談ください。

点検箇所	点検内容
フレーム	フレームのバックルはしっかりロックされているか。 緩み、がたつきなど無いか。
ハンドル ハンドルバックル	ハンドルの白線の位置はハンドルポストに合っているか。 ハンドルバックルを下げてハンドルを固定しているか。
ハンドルポスト ハンドルポストバックル	ハンドルポストにガタつきが無いか。 ハンドルポストバックルはしっかりロックされているか。
シート シートポストバックル	シートの向きや高さは合っているか。ガタつかず、容易に回転などしないか。
タイヤ（前後）	ガタつき、減りなど無いか。 空気圧はタイヤ側面に記載された適正空気圧になっているか。
フロントバスケット リアキャリア	緩み、ガタつきなど無いか。
ベル	レバーを作動させたとき、警告音は鳴るか。
フロントランプ	電源がONのときに点灯するか。
テールランプ ブレーキランプ	電源がONのときにテールランプは点灯するか。 ブレーキレバーを握ったときにブレーキランプは点灯するか。
前輪ブレーキ（右） 後輪ブレーキ（左）	ブレーキの作動に問題が無く、機能するか。 ブレーキの利き具合に変化はないか。
LEDメーター	エラー表示など出ていないか。 （エラー表示が出ている場合は、原因を突き止め対処する）
ウィンカー/ 最高速度表示灯	すべて正常に機能するか。最高速度表示灯はMODE1では点滅、MODE2では点灯するか。 緩み、ガタつきなど無いか。
バッテリー	充電量が充分か。
標識（ナンバープレート）	しっかりと固定されていてガタつきなど無いか。 自賠責のステッカーは貼り付けられているか。
自賠責保険証	携行、または自賠責保険証の画像を携帯しているか。

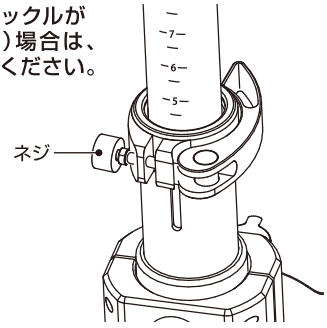
乗車方法

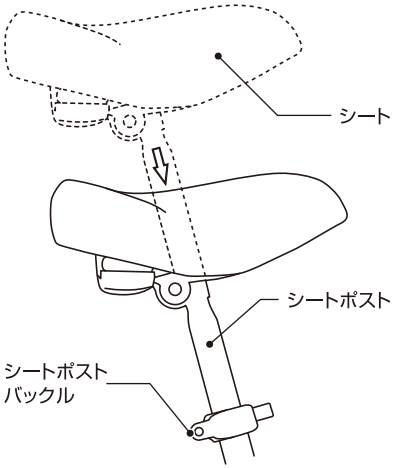
1 運転にふさわしい衣服を着用し、ヘルメットを被ります。

●ヘルメットの着用は努力義務です。
●ケガを防止するために肌の露出が少ない衣服を着用してください。
●裾の広がったズボンの場合、ゴムバンド等で留めてください。
●肘や膝など保護するプロテクターを装着することを推奨します。

2 シートの高さを調節します。

①シートポストバックルを開きます。
②両足のつま先が地面に軽く触れる高さになるようシートを調節し、シートポストバックルを閉じて固定します。
③シートポストバックルがゆるい（きつい）場合は、ネジを調節してください。

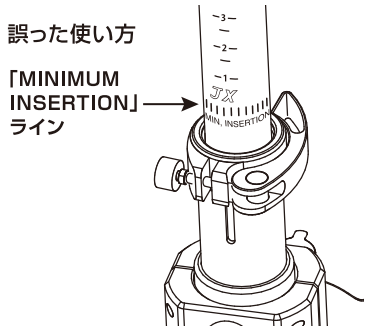




⚠

「MIN, INSERTION」のラインより、下の位置で固定しないこと。

誤った使い方

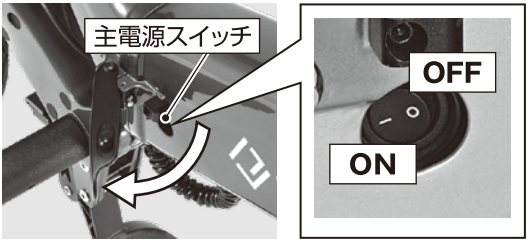


3 乗車します。

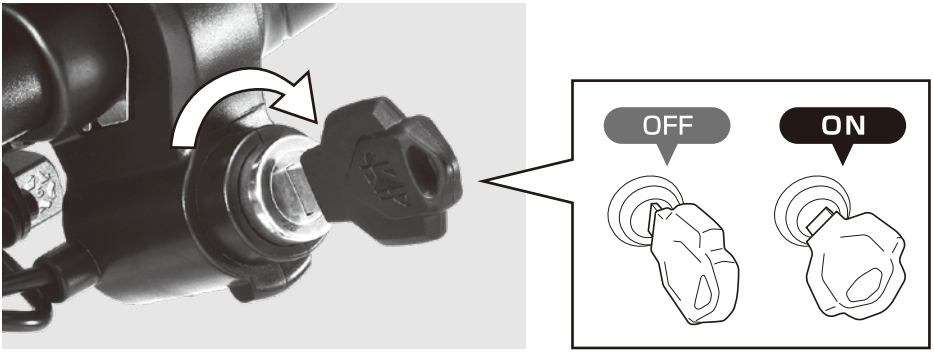
①車両の左側からまたがり、右足でステップバーを踏んでシートに座ります。
②後輪ブレーキレバーを握り車両を安定させます。



4 電源をONにします。



①主電源スイッチが ON になっていることを確認します。
②メインキーをキーシリンダーに差し込み、右に回して電源をONにします。
③電源がONになると、LEDメーターが表示され、フロントランプ・最高速度表示灯が点灯（点滅）します。



5 走行モードを設定します。



●電源をONにした時は、
常に「MODE1」に設定されます。

●モードボタンを押して、走行モードを選択します。モードは以下の通りに切り替わります。

MODE1 → MODE2

●走行モードは停車時のみに変更が可能です。走行中の切り替えはできません。

表示	モード	最高速度	最高速度表示灯	通行場所
MODE1	歩道通行モード	6 km／h	点滅	歩道、路側帯(歩行者用路側帯を除く)
MODE2	車道通行モード	20km／h	点灯	車道、普通自転車専用通行帯、自転車道

6 アクセルを回して走行します。



①アクセルグリップをゆっくり回して発進します。

②走り出して安定したら、足をステップバーの上に保持します。

③アクセルグリップを緩めると速度が遅くなります。

⚠ 初めてe-FREE 02 に乗車する際は「MODE1」で試走してください。
「MODE2」で走行する前に、試走で運転に慣れてください。

7 ブレーキを掛けて停車します。

周囲の安全を確認し、ブレーキレバーを握り徐々に減速して停車します。



・通常の走行では、後輪ブレーキ（左）を主に使用してください。前輪ブレーキ（右）のみの使用は、転倒の原因となるおそれがあります。

・緊急時には、後輪ブレーキ（左）と前輪ブレーキ（右）を併用し、安定した制動を心がけてください。

> ⚠ 車両を押して歩くなど、乗車しないときは必ず電源をOFFにすること。
> 誤ってアクセルグリップを回してしまい、車両が急加速する危険があります。

⚠ 当車両は特例特定小型原動機付自転車です。法律を厳守し、交通マナーを守り走行してください。

標識（例）



自転車を除く





安全に走行いただくために

⚠ 16歳未満の者の運転の禁止

16歳未満の者が特定小型原動機付き自転車を運転することは禁止されています。



⚠ 飲酒運転の禁止

お酒を飲んだら絶対に運転してはいけません。



⚠ 二人乗りの禁止

e-FREEは二人乗りをしてはいけません。



⚠ 最大積載量

最大積載量（乗員と積載物の合計）は120kgです。そのうち、フロントバスケットの最大積載量は5kg、リアキャリアの最大積載量は10kgです。



⚠ 走行前点検の実施

走行前に各部を点検してください。
（点検箇所23ページ）



⚠ 悪天候時のご利用禁止

雨・風・雪など天候がひどく悪い場合は、乗車を控えてください。また、積雪や凍結した道路、鉄板、ぬかるみなど滑りやすい場所では走行を避けてください。



⚠ ながら運転の禁止

スマートフォン等を通話のために使用したり、その画面に表示された映像を注視したりしながら運転をしてはいけません。



保管とメンテナンス

■ 定期点検

安全に製品をお使いいただくために、日々の走行前点検に加え、定期点検を必ず実施してください。
定期点検はお買い上げの販売店へ依頼してください。

1回目　定期点検　（購入後1ヵ月、または200km走行後）	無料	ブレーキの調整、その他点検/整備を行います。
2回目以降　定期点検　（500km走行ごと）	有料	

■ 洗車

●泥汚れ、水滴、潮風、凍結防止剤などは錆の原因となるため、こまめに洗車してください。
●車両や各部品は完全防水ではありません。洗車の際に大量の水を集中的にかけないでください。
●ブレーキディスクが濡れていると効きが悪くなるので、洗車後は充分に乾かしてください。

⚠
●洗車時は、電源OFFになっていること、充電器のプラグが抜かれていることを確認してください。
●シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリン、灯油などの溶剤は使用しないでください。車両や部品が破損する原因となります。
●高圧洗車機械は使用しないでください。

■ 保管

●保管する際は下記に示した場所をおすすめします。
- 平坦で水平なところ
- 風雨に当たらず、湿気の少ないところ
- 直射日光が当たらず、湿度が低いところ

⚠
●車両を30日以上使用しない場合は、車両からバッテリーを取り外してください。
●長期間使用しない場合でも定期的（3ヵ月に1回）に充電を行ってください。完全放電すると電池の寿命が短くなります。
●完全放電の状態で長期間放置すると、バッテリーは使用できなくなりますのでご注意ください。

タイヤのメンテナンス

●空気圧は、時間が経過すると低下します。必ず走行前に空気圧を点検、調整してください。こまめに空気圧を調整することでタイヤの寿命を延ばすことができます。

●タイヤの空気圧調整は、米式バルブ対応、空気圧計の付いた空気入れ（コンプレッサー）を使用してください。

●以下の現象が認められた場合、お買い上げの販売店に点検および修理、交換等を依頼してください。

・亀裂や破損がある
・異物がある
・溝が1mm以下
・偏摩耗している



●空気圧が適正でないタイヤ、破損しているタイヤ、摩擦しているタイヤは、転倒などの原因となり死亡もしくは傷害を負う危険があります。
●当車両が指定するタイヤ以外は使用しないでください。指定外のタイヤを使用した場合は、保証の対象外となります。

その他パーツのメンテナンス

●一部パーツは消耗品です。

●パーツに破損や不具合が認められた場合、お買い上げの販売店に点検および修理、交換等を依頼してください。



●破損や不具合のあるパーツは、転倒などの原因となり死亡もしくは障害を負う危険があります。
●当車両が指定するパーツ以外は使用しないでください。指定外のパーツを使用した場合は、保証の対象外となります。

トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったら、まずは以下をご確認ください。
改善しない場合、わからない場合は、お買い上げの販売店へお問合せください。

■ タイヤがパンクした

●当車両のタイヤは、電動バイク用のチューブタイヤです。e-FREE 02取扱店でパンク修理を依頼してください。

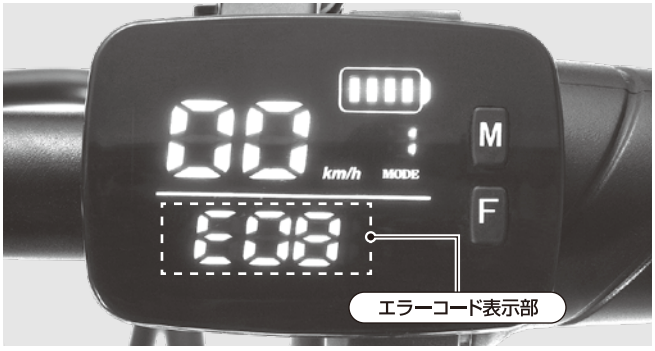
■ パワーが弱い、速度が遅い

●LEDメーターに表示されているバッテリー残量がレベル2以下になった場合はバッテリーを充電してください。

■ 充電時間が長くなった／走行距離が短くなった

●充電サイクル回数（300回）を目安に、充電時間が極端に長くなった、走行距離が極端に短くなった場合は、新品のバッテリーにお取り替えください。

■ LEDメーターにエラーコードが表示される



コード	原因と対処法
E07	モーターの配線が外れているか、モーターが故障しています。配線を確認してください。故障している場合は交換が必要です。
E08	電源がOFFの状態でアクセルグリップを回しています。 アクセルグリップを戻してください。
E10	コントローラ系統のパーツが故障しています。 故障している場合は交換が必要です。

車両情報

■車両仕様

車両型式	e-FREE 02	
サイズ	全長1,400／全幅590／全高1,090(mm)	
折たたみサイズ	全長770／全福490／全高760(mm)	
車両重量	24kg(バッテリー装着時)	
走行可能距離	約45km	※1
最大出力	500W	
最高速度(MODE1)	6km／h	※2
最高速度(MODE2)	20km／h	
バッテリー種類	リチウムイオン電池	
駆動方式	インホイールモーター	
タイヤサイズ	16インチ	
制動装置形式	ディスクブレーキ	
乗車定員	1名	
最大荷重	120kg	
登坂力	15度	※3
使用温度	0～45℃	

■バッテリー仕様

タイプ	リチウムイオン電池
容量	9.6Ah
定格電圧	48V
蓄電容量	460.8Wh

充電温度範囲	10～35℃
使用温度範囲	-10～40℃
充電時間	4～5時間 ※4

■専用充電器仕様

定格入力	100V－240V　50／60Hz　2.5A
定格出力	54.6V－2.0A

※1：満充電時に平地を「MODE2」で走行したときの距離（積載量70kg）。
※2：満充電時に平地を走行したときの最高速度（積載量70kg）。
※3：満充電時に「MODE2」で走行した時の登坂力（積載量70kg）。
※4：バッテリー残量0%から満充電となるまでの目安の時間。

パーツリスト

各パーツは、車両をお買い上げの販売店にご注文ください。

品番	品名
BER101	シート
BER102	シートポスト
BER103	ステップバー左
BER104	ステップバー右
BER105	ハンドルポストセット
BER106	ブレーキパッド
BER107	タイヤ 1本
BER108	チューブ 1本
BER109	ディスクブレーキ 1枚
BER110	フロントキャリパー
BER111	リアキャリパー
BER112	前輪ブレーキレバー(右)
BER113	後輪ブレーキレバー(左)／ベル
BER114	フロントランプセット
BER115	前輪ホイール
BER116	後輪ホイール／モーター
BER117	センタースタンド
BER118	フロントウインカー／最高速度表示灯(左)
BER119	フロントウインカー／最高速度表示灯(右)
BER120	リアウインカー／最高速度表示灯(左)
BER121	リアウインカー／最高速度表示灯(右)
BER122	ウインカースイッチ
BER123	LEDメーター／アクセルグリップ／キーシリンダー、メインキー(2本)セット
BER124	テール／ブレーキランプ／ナンバープレートステー
BER125	フロントマッドガード
BER126	リアマッドガード
BER127	バッテリー、バッテリーキー(2本)セット
BER128	ハンドル
BER129	右グリップ
BER130	左グリップ
BER131	フロントブレーキワイヤー
BER132	リアブレーキワイヤー
BER133	コントローラーセット
BER134	フロントバスケット
BER135	専用充電器
BER136	LEDメーターケーブル

品番	品名
BER137	テールランプケーブル
BER138	フロントフォークセット
BER139	サスペンション
BER140	リアキャリア
BER141	コントローラーカバー
BER142	リアハブナットカバー
BER143	リフレクター
BER144	フロントウインカー左ケーブル
BER145	フロントウインカー右ケーブル
BER146	リアウインカー左ケーブル
BER147	リアウインカー右ケーブル
BER148	フロントフォークヘッドセット
BER149	カートン
BER150	梱包材
BER151	スタンドアダプター
BER152	ラバーグロメット